

施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	施策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	5	快適な生活環境づくり		
	施策	4	上水道		

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○「第2次名張市水道ビジョン」に基づき、水道水を安定的に供給するため、老朽化施設や老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図るなど、災害に強い水道施設を整備するほか、水質管理体制の充実により、安心して飲める良質な水道水を供給します。

2. 令和4年度の実績内容及びその成果



[管路更新]
・県道山野名張線や県道奈良名張線及び桔梗が丘、黒田、赤目町柏原、矢川の各地区に埋設されている老朽管を合わせて約7.5km更新し、耐震化を図りました。
[施設管理]
・安定的に良質な水道水を供給するため、長瀬浄水場の電気設備更新や富貴ヶ丘浄水場ろ過池更生工事を計画的に実施しました。
・水源水質の監視強化により、浄水場で水道水の味やにおいに影響する原因物質を取り除き、安心して飲める水道水を供給しました。また、厚生労働省の評価試験では、8年連続で水質検査レベルが高い機関であると評価されました。
[事業運営]
・中長期的な視点に立った経営の基本計画となる経営戦略を基に、管路の耐震化事業等にかかる財源確保を図るとともに、財政計画の更新を行いました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
上水道サービスに満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	77.6	
	成果	75.1	79.3	78.6	77.6	77.1	79.2	100.0%
経年化設備率(%) (浄水場対象)	目標	-	-	-	-	-	11.5	
	成果	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	11.5	100.0%
基幹管路における耐震管延長(m) (導水管・送水管・φ300mm以上配水管)	目標	-	-	-	-	-	10,500	
	成果	9,590	9,643	9,643	10,059	10,371	10,371	85.8%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



[管路更新]
・経年化による管路等の更新需要は今後さらに増大し、なかでも昭和55年に布設した管路は全体の12%を占め、間もなく更新時期を迎えようとしています。このことを踏まえた第2次名張市水道ビジョンに基づき、令和4年度の年間更新延長を増加して計画しましたが、工事規模以外に様々な要因も重なり年度内に完了できなかった工区もありました。
[施設管理]
・水道統計による経年化設備率(浄水場対象)は、全国平均44%に対し11.5%ですが、令和5年度以降急激に増加して42%になることから、計画的な機械・電気設備更新が必要です。また、将来の水需要減少に合わせ、浄水場運転管理業務の省力化を実現できるデジタル技術の活用が必要です。
・異常気象の発生頻度の増加に伴い、浄水場などの災害対策と水質異常の早期発見など水質状況の監視をさらに強化する必要があります。
[事業運営]
・人口減少や節水技術の進展により水需要が減少し、料金収入が減少傾向にあり、原油価格・物価高騰等により水道事業を取り巻く経営環境は、ますます困難な状況になっています。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の取組内容(令和5年度以降)



[管路更新]
・第2次名張市水道ビジョンに基づき、老朽化した管路施設の更新に計画的に取り組みます。令和5年度以降は、名張、桔梗が丘、美旗中村、緑が丘、松原、赤目地区などの老朽管を耐震管に更新することにより、耐震化等災害に強い水道施設の整備を推進します。
[施設管理]
・災害対策として、桜ヶ丘取水所に自家発電設備を設置するとともに、管内5箇所の配水池が概略診断で耐震強度不足であるため、計画的に詳細診断及び設計業務を実施します。
・浄水場などの機械・電気設備の計画的な更新を進めながら、富貴ヶ丘浄水場運転監視制御装置の更新時には、浄水場の自動運転化も図ります。
[事業運営]
・令和2年度に策定した名張市水道事業経営戦略に対し、その後の決算資料等を基に検証と見直しを行うとともに、今後増大していく施設更新費用の財源確保に向け、上下水道事業運営審議会の開催や部内に経営戦略会議を立上げて、持続可能な事業運営に取り組みます。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち 一般財源
水道事業会計	水道事業会計	上下水道部	経営総務室	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業の運営 ・老朽施設、老朽管の更新・改良、耐震化工事等 <p><令和3年度繰越分> 資本的支出 422,475,900円 <令和4年度現年分> 収益的支出 1,919,046,963円 資本的支出 676,027,314円 【参考】 継続費繰越額 471,000円 繰越額 769,492,000円</p>	3,017,550	-